

花房端運

はなぶら たいだん

歌人。

文政七年八月二日備中國下道郡岡田生れ、明

治二十一年四月九日没（八二四一丸）。幼名次郎吉、通稱七大夫、端夫。

號蘭堂。岡田藩士徳田和貴の次男、岡山藩士花房義孝の養嗣子。藩内

に重きを爲し、維新の折大參事。廢藩後工部省出仕、鐵道權助となる

と、明治十年官を辭して歸郷、第二十二國と銀行を創りして頭取、ま

り岡山紡績會社を興し、二十一年には初代岡山市長に就任した。和歌

を能くし、書畫に堪能。子爵花房義實、法學者花房直二郎の父。

参考文献に、關新吾執筆「子爵花房義實君事略」（黒瀬義門編、大正

二年七月二十一日小林武之助刊）、「哀梨錄―花房中村道慕錄」（昭

和十五年七月二十一日出石誠彦・南郷茂重編刊）等。